

●ダイナム

スカッシュ大会を今年も協賛 誰もが参加できるスポーツに

ダイナムは9月1〜3日、横浜市の「ヨコハマスカッシュスタジアム SQUICUBE」で開催された、「ダイナムCUPSQUICUBE OPEN 2017 in 新横浜」にオフィシャルスポンサーとして協賛した。

スカッシュ賞金大会で国内最高額（総額100万円）を誇る同大会。ダイナム創業50周年、「ヨコハマスカッシュスタジアム SQUICUBE」開業10年の記念大会となった今回は、机龍之介選手や渡邊聡美選手ら、国内トッププロをはじめとした約300人が参加した。

男子決勝では、ジャパナロンキング1位の机選手が優勝。女子決勝は同ラック3位の渡邊聡美選手が、1位の杉本梨沙選手を破り、同大会初優勝を果たした。



保坂取締役（中央）と優勝した渡邊選手（左）、机選手



一瞬たりとも目が離せない白熱した試合が展開した

は、「2015年からスポンサーを務めさせていただった本大会も、今回で6回目。小学生からシニアまで参加できるスポーツとして、今後も発展してほしい」とあいさつした。

NEWS FILE

業 界 動 向

●アサヒデイード

「イルサローネ東住吉店」 防火対象物点検の特例認定

大阪・兵庫で12店舗を運営するアサヒデイードは8月23日、大阪市の「イルサローネ東住吉店」が防火対象物定期点検報告制度における特例認定を受けたと発表した。

この特例認定は、一定の期間、消防法令の順守状況が優良と認められることで、一定の期間、点検報告義務が免除されるもの。同社では「人命尊重と

社会貢献」を防災理念に掲げており、その再認識の必要性を感じた役員が、2017年4月に「防火心得」を発信。

より安全な施設管理の仕組みを整え、すべての判断において人命が重要であるという意識付けを強化していた。申請を主管した施設管理のマネジャーは、「申請の前提として、過去3年間の



イルサローネ東住吉店

不備がないことが条件にあるが、その運営面を評価していただけだ。次の消防立ち入り検査が3年後になるので、普通自動車免許であれば、ゴールド免許のようなもの。ただし、その責は重い」と語っている。

●カツヨシ商事

「みやぎ元気マラソン」に 5回目の特別協賛



琴社長

元気マラソン2017」に特別協賛した。

東日本大震災後、「東北を元気に！ 宮城を元気に！」をコンセプトに、2013年から始まった大会で、同社は初回から支援。琴亮吉社長は、実行委員長も務めている。

また、その縁で毎年、他の業界関連企業も協賛しており、今回も大都販売、平和、三洋販売、ユニバーサ

ルエンターテインメント、東北京楽などが「パートナー」として名を連ねた。大会には、未就学児から66歳まで、536人が参加。宮城をはじめとする東北だけでなく、関東・関西からも参加者があつたという。

同社広報担当者は、「今年も大勢の方々に楽しんでもらえて幸いです。大会のキャッチフレーズである『やればできる！』は、当社の行動指針でもある。今後でもできる限り、支援していきたい」とコメントしている。